

山武郡市広域水道企業団中長期経営プラン2016について

～ 基本理念「次世代へつなぐ強靱で安心な水道」～

水道水は、私たちの生活にとって欠かせないものです。山武水道では、中長期的な視点に立った新たな計画として、平成28年3月に「山武郡市広域水道企業団中長期経営プラン2016」（計画期間：平成28～37年度）を策定し、基本理念として掲げた「次世代へつなぐ強靱で安心な水道」の実現を目指して、経営プランの推進に取り組んでいます。

基本理念を実現するための取組（計画目標）

水道水の安全の確保【安全】

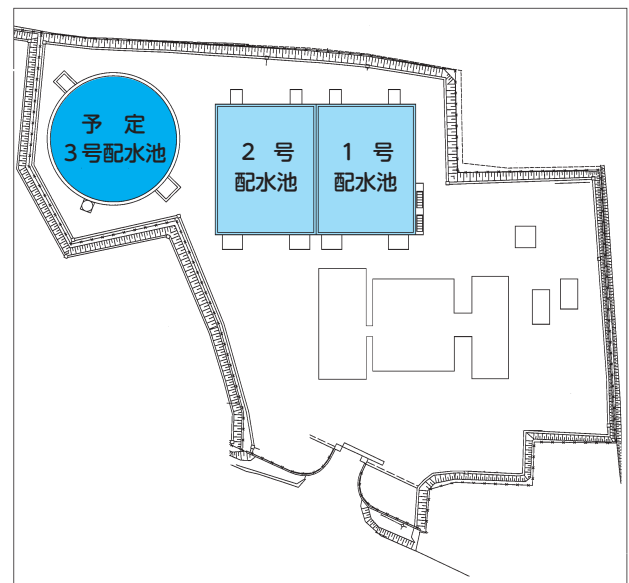
- 水質管理体制の強化を図ることで、すべてのお客様がいつでもどこでも安心して飲める安全な水道水をお届けしております。また、水質情報をホームページで公表してまいります。
- 水質異常等の緊急時に迅速な対応が図れるよう関係機関との連絡体制の強化を図ってまいります。
- 給水装置の安全性を確保するため、給水管等の漏水や通水不良といった給水事故を防ぐ取組を行ってまいります。

供給体制の持続性の確保【持続】

- 水道事業を取り巻く経営環境は大きく変化し厳しさが増していることから、経営の健全化及び効率化を推進し将来にわたり持続可能な水道事業を目指してまいります。
- お客様に信頼される水道サービスを目指し、接客マナーの向上、広報活動の一層の充実などお客様の視点に立った取組を推進してまいります。
- 熟練職員の持つ高い技術力等を若手職員に継承するとともに、専門的知識や技術を習得できるような人材の育成に努めてまいります。
- 経営の安定化策のひとつとして、九十九里地域の末端水道事業体の事業統合について検討を行ってまいります。

確実な給水の確保【強靱】

- 配水管の耐震化や松尾配水場に耐震性能を有する3号配水池を築造する等、災害に強い水道施設を構築してまいります。
- 配水管の健全性を維持し漏水事故の発生を防ぐため、定期的な保守点検や管路パトロールを実施してまいります。
- 災害等の非常時においても、ライフラインである水道を機能させるための取組を強化してまいります。
- 将来の水需要に合わせた配水施設の統廃合や配水管のダウンサイジング等を実施することで、効率的な水運用を図ってまいります。



松尾配水場（3号配水池：平成30年度築造予定）

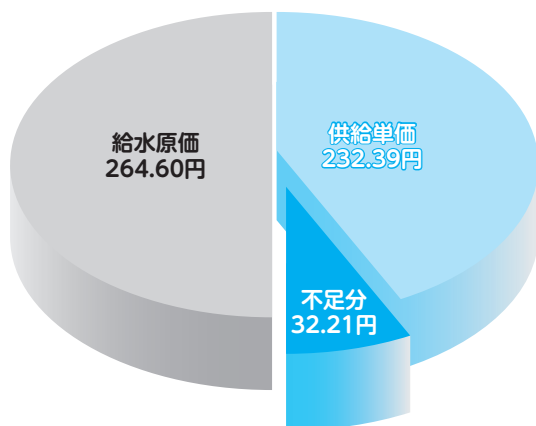
詳細についてはホームページ（<http://www.water-sansui-ki.jp>）で公表しております。

山武水道 中長期経営プラン

検索

山武水道の水道料金について

1 m³当たり（平成28年度決算数値）



給水原価…水道水1 m³をご家庭に送り届けるために要した費用

供給単価…水道水1 m³当たりの水道料金収入

水道料金は、水道法で「適正な原価に照らし公正妥当なものであること。」とされています。ここでいう原価とは給水原価（有収水量1 m³当たりの費用）をいいます。

山武水道の給水原価は、給水区域内に取水可能な水源（表流水、地下水等）がないため、利根川を水源とした九十九里地域水道企業団から浄水を購入（受水）し、各家庭へ水道水を供給していることから受水費が費用の約6割と大きな割合を占めています。

加えて、広大な給水区域の全域に水道水を供給するため、大規模な配水施設を保有しており、これら資産の減価償却費や現在までに借り入れた企業債の支払利息を費用化する必要があります。

これら固定的経費は、費用全体の8割を超え、給水原価を押し上げる最大要因となっています。

また、左図のとおり、「供給単価」が「給水原価」を下回り、原価回収ができていない状況にあります。

地方公営企業の経営は、経費の支払いに料金収入をもって充てる独立採算が基本原則です。山武水道は、水道事業という高い公共性に鑑み、不足分32.21円を千葉県及び構成市町からの補助金で賄うことで、現在の水道料金を維持しています。